

FlowerTrials® 案内記

対馬 淳一

初めに

簡単な自己紹介をさせていただきます。私は故飯塚宗夫先生と三位正洋先生のご指導のもと、昭和55年に園芸学科を卒業しました。農場の入口近くの平屋の建物に飯塚先生が研究室を構えられていたところに培養に興味を持ち、ご指導を仰ぎました。卒論のテーマは *Allium* 属の急速増殖で、主に *Allium giganteum* の組織培養を通して ABA が球根形成に及ぼす影響を調べました。卒業後は、青年海外協力隊の隊員として、最近話題になっているシリア国ドゥマ農業試験場に2年間滞在し、主にニンニクの組織培養をしました。

帰国後は、海外での経験を評価していただいたタキイ種苗㈱に入社。研究農場や開発部などに所属し、12年勤務しました。オランダには2回、合計で7年間滞在しましたが、その間にオランダの国民性や自由に魅せられた私はオランダで生活することを選び、タキイ種苗を退社。転職して、オランダの切り花輸出会社 Zurel & co.、Hiljo bv にて、日本向け切り花輸出業務に8年従事しました。その後、日蘭の園芸の実務レベルでの交流をお手伝いする個人経営の園芸事務所を立ち上げ、現在は翻訳、通訳、ガイドを生業としております。

三位先生や横井政人先生のヨーロッパ来訪時には、運転手としてご一緒させていただきました。一番思い出深い出来事は、横井先生を Boskoop の斑入り植物の収集家に案内した時のことで、食事もとらずに昼過ぎから夜遅くまで（夏は10時すぎまで明るいので）、世界的なコレクターであるお二人の斑入りに対する情熱的なやりとりを傍で聞かせていただいたことです。

FlowerTrials®

ご存じのようにオランダは園芸大国で、生産、消費のいずれも群を抜いて多く、育種、研究部門でもアメリカ、日本とともに世界の花卉園芸の一翼を担っ



FlowerTrials® のロゴ

ています。毎年作られる新品種は Keukenhof (球根類) 3～5月、FlowerTrials® (苗物、鉢物) 6月、Plantarium (庭木類) 8月、種苗会社の Open day 9月、International Horti Fair (園芸全般) 10～11月など、様々な展示会を通して発表されます。

本稿では今年行われた FlowerTrials® について、中部地方の花壇苗の生産者、流通業者、ガーデンセンターの皆様を案内した時の様子を交え、紹介したいと思います。

FlowerTrials® は苗物、鉢物の展示会で、種子系と共に栄養繁殖系が数多く展示されます。今年は6月12日～15日の日程で、Aalsmeer、Westland、Rheinland-Westfalen の3地区で開催。世界中からその道のプロが集まり、入場者数は延べ6,363人を数えました。

【Aalsmeer 地区】

Aalsmeer には、Westeinderplassen 湖を中心にした湿地地帯に網の目のように水路、細道が作られ、花卉栽培温室が点在します。伝統的にバラ、チューリップ、



展示会場 (Florist 社提供)



Patio Everglades (Florist 社提供)

アルストロメリア、シリンガの栽培が多い地区です。今回は9ヶ所、12社が展示をしましたが、そのうち11社を訪問しました。

○ Bartels Stek

Agribio (キリン) グループの一員で、鉢物では *Clematis*、*Helleborus*、*Phlox paniculata*、*Phlox subulata*、*Aster*、*Physalis*、*Rudbeckia* の育種を行っています。*Phlox* のなかに面白そうな品種がたくさんありました。

○ Florist Holland bv

Royal Hilverda Group の一員で、ガーベラ専業者。鉢物用、種子繁殖系の Flori、花壇用、種子繁殖系の Sundayz、花壇用、栄養繁殖系 Garvinea、室外テラス、中庭、ベランダ用、栄養繁殖系の Patio シリーズを見ることができました。

○ Hilverdakooij bv

Royal Hilverda Group の中核企業。育種に歴史のあるカーネーションの他、*Limonium*、*Alstroemeria* の鉢物用品種を見ることができました。新品種、試作番号品種がたくさん展示され、それに対するアンケートもあり来場者の意見を積極的に取り入れようとする姿勢がみられました。

○ Koppe

ベゴニア専業者。様々な色、タイプのベゴニアが見られました。Beleaf シリーズとして葉物ベゴニアもありました。

○ Moerheim

サントリーフラワーズの一員。 *Surfinia*、*Million*

bells をはじめ各種苗物、鉢物が展示されていました。

○ Agrion

花卉、野菜、代替燃料植物の育種、コンサルタント会社。

Ageratum、*Campanula*、*Hydrangea*、*Hypericum*、*Kalanchoe*、*Symphoricarpos* など展示されていましたが、*Hydrangea* と *Kalanchoe* のなかに面白そうなものがたくさんありました。

○ Panamerican seed & Kieft pro seeds

アメリカに本社のある花卉種子系育種会社。ヨーロッパでは Kieft pro seeds が販売しています。各種種子繁殖系苗物、鉢物が展示されていました。多年生植物を扱う Darwin Plants の展示もありました。

○ Royal van Zanten

球根の育種、生産で Royal の名誉称号を得ている会社。 *Alstroemeria*、*Bouvardia*、*Limonium*、*Aster*、キクの育種もさかんに行っています。キク、*Alstroemeria*、*Aster* に面白そうなものがたくさんありました。

○ Morel Diffusion

フランスのシクラメン専業者。ミニから切り花用まで、芳香性から斑入りまですべてのタイプのシクラメンが展示されていました。ただ説明、カタログがすべてフランス語なのは困りました。

○ Danziger/Imperial Plants

イスラエルの育苗苗生産業者。カタログの品種名に日本語表記があり、日本市場へも進出を図っています。



Hilverdakooij 社 新品種の展示
(Hilverdakooij 社提供)

【Westland 地区】

Den Haag の南西にある温室地帯で贈答用ブドウのガラス室栽培から歴史がはじまりました。南欧からの輸入によりブドウ栽培が廃れたのち、トマト、パプリカ、キュウリ、レタスなどの野菜及び、花卉栽培へと発展しました。Aalsmeer 地区と比べて野菜の栽培が多く、花卉栽培の中ではキクの栽培が多いのが特徴です。グーグルマップなどの航空写真で見るとガラス温室の過密ぶりが一目でわかります (<http://maps.google.com>)。

今回は 14ヶ所 20社の展示のうち、日程が1日だけだったためお客様の希望された品目から6社を選んで訪問しました。

○ Armada

Moerplant、Excellent Flower Breeding と Superior Yong Plants 3社が合併して誕生した会社です。苗物、鉢物としては *Aster*、*Dahlia*、*Hibiscus*、*Ranunculus*、キクなどですが、キクのコレクションが非常に豊富で、温室の奥にある試交品種まで見せてもらいました。特に草姿、花形、開花期が同じで花色のみ異なる組み合わせがあり、お客様の注目を浴びていました。

○ Beekenkamp Plants bv

育苗苗生産業者。キクの育種で有名な Deliflor Chrysanthen と Beelenkamp Verpakkingen の3社で Beekenkamp group を形成。数多くの育苗苗の展示が見られました。

○ Fides

Agribio (キリン) の一員。有名なキクの他に、*Kalanchoe*、*Calibrachoa*、*Dianthus*、*Dahlia*、*Impatiens*、*Nemesia*、*Osteospermum*、*Pelargonium*、*Petunia* が展示されていました。

○ Sakata Ornamentals Europe a/s

種子系その他、*Osteospermum*、*Calibrachoa* などの栄養繁殖系も数多く展示されていました。駐在員の方がヨーロッパと日本での栽培の違い、客の好みの違いなどお客様の知りたいことを的確に日本語で答えてくださり、大変参考になりました。

○ Selecta

ドイツに本社のある独立系栄養繁殖系花卉育種会社。日本にも支店があります。栄養繁殖系の *Calibrachoa*、*Dianthus*、*Impatiens*、*Osteospermum*、*Pelargonium*、

【今回は訪問していない会社・ナーサリーの一覧】

地区／会社・ナーサリー名	主な扱い品目・特徴等
Aalsmeer 地区	
Floricultura	ランの育種
Westland 地区	
Ernst Benary Samenzucht GmbH	ドイツの種苗会社
Brandkamp GmbH	<i>Fuchsia</i> 、 <i>Petunia</i> の育種
Combinations	育苗苗生産業者
FloranovaLTD/Vegetalis LTD	イギリスの種苗会社
Florensis	<i>Lobelia</i> 、 <i>Petunia</i> 、 <i>Echinacea</i> などの育種
Jonge planten Grunewald bv	ドイツの育苗苗生産業者
Hem Genetics bv	種苗会社
KP Holland	<i>Anthurium</i> 、 <i>Kalanchoe</i> 、 <i>Spathiphyllum</i> の育種
Lannes	フランス <i>Dipladenia</i> などの育種
RijnPlant	<i>Anthurium</i> の育種
Sion Young Plants	ランの育苗苗生産業者
Takii Europe bv	タキイ種苗の欧州子会社
Thomson & Morgan	イギリスの種苗会社 <i>Petunia</i> 、 <i>Begonia</i> 、 <i>Fuchsia</i>
Volmary GmbH	ドイツの種苗会社 <i>Thunbergia</i> などの育種
Rheinland-Westfalen 地区	
Dummen	<i>Poinsettia</i> 、 <i>Begonia</i> の育種
Elsner pac	<i>Pelargonium</i> 、 <i>Impatiens</i> の育種
Geranien EndischGmbH/Gartenbau Bongartz	<i>Pelargonium</i> 、 <i>Impatiens</i> の育種
Kientzler Jungpflanzen GmbH	<i>Impatiens</i> の育種
Selecta Klemm GmbH	<i>Impatiens</i> 、 <i>Osteospermum</i> 、 <i>Pelargonium</i> の育種
Westhoff	<i>Lobelia</i> 、 <i>Verbena</i> 、 <i>Calibrachoa</i> の育種

Petunia、*Verbena* など多くの展示がありました。

○ Syngenta

花卉種子で Royal の名誉称号を得た Sluis&Groot が度重なる合併、買収の結果、Syngenta となりました。豊富な種子系の他、*Calibrachoa*、*Dahlia*、*Diascia*、*Impatiens*、*Osteospermum*、*Pelargonium*、*Petunia*、*Verbena* など栄養繁殖系も多くの展示がありました。

今回は日程が2日間であり、また多くの展示場が車1台通るのがやっとという細い迷路のような道を通るため、効率的に移動してもどうしても全部を見て廻ることができませんでした。合計で丸3日あれば Aalsmeer、Westland 地区のすべての会場、4日あれば Rheinland-Westfalen まで含めて見て廻れると思います。

展示は自社温室で行う会社と会場を借りる会社があり、前者の場合、運が良ければ温室の奥にある試交品種まで見せてもらえることもあります。後者の場合、ゆとりのあるスペースに美しく展示され、食事も無料で提供されます。また数社まとめて展示されることもあり、移動時間の節約にもなります。

国際化の影響で、切り花、鉢物生産地がオランダか

らアフリカや中南米などへ移っています。それに伴い育苗苗の生産も切り花、鉢物生産地へ移す例が多く見られます。一方で、やはり育種や研究部門はオランダに残しており、新品種に関する情報は依然としてオランダに集約される状態が続いています。

《まとめ》

花の育種には国民性が表れるといいます。わたしも色々な育種現場を訪れて、「こんな色合いは日本向きではない」など思うことも度々です。お客様には日本とヨーロッパの違い、さらにはゲルマン系とラテン系の違いを、文化的背景なども通して肌で感じて頂きたい思います。一方、「ニッチの市場に合う」、「日本にない色がほしい」とのお客様の声もあり私心を交えず、お客様にありのままを見て頂けるよう努力をしています。

なお、2013年の FlowerTrials® は、6月11日～14日に予定されています。興味のある方は是非、対馬園芸研究所 tsushima@snelnet.net までお気軽にお問い合わせ下さい。皆様のお越しをお待ちしております。